

No	部等名	該当箇所					意見等	対応内容
1	行政経営部	第1編	第1章	1		2	基本方針の文中で、「長寿社会に対応した社会システムの見直しとともに」にあるが、社会システムとは何か。市が先導して見直しできる内容なのか。	指摘を踏まえ文言を修正します。 ⇒長寿社会に対応したまちづくりに取り組むとともに、
2		第1編	第2章	2	②	10	②組織体制・職員力の向上の記述にある「働きやすい環境の充実」の冒頭に「テレワークの導入など、」を加筆する。	指摘のとおり修正します。 ⇒「～、テレワークの導入など、働きやすい環境の充実による～」
3		第1編	第2章	2			「市役所本庁舎の整備」⇒「市役所本庁舎の移転整備」 9（整備方針が移転であることを、市の刊行物として、あいまいにせず、しっかり伝える必要性があると思います。）	指摘のとおり修正します。 ⇒市役所本庁の移転整備
4		第1編	第2章	2		10	計画の推進に向けた考え方④公共施設マネジメントの推進の部分は、インフラも含まれる文章ですが、「公共施設等」の表現とするかご検討ください。	指摘のとおり修正します。 ⇒公共施設等
5		第1編	第2章	3		14	取組の方向性の「さらに、文化財の保全、活用や……自然遺産の保全します。」は、第5章(1)では出てこないこと、通常の文化財の保全、活用が、防災・減災にはつながらないため、削除すべき。	指摘を踏まえ文言を修正します。 ⇒～さらに、十分な災害対策を行うことにより、鎌倉の歴史的遺産、自然遺産を保全します。
6		第2編	第4章	6	①	79	「・市民に求められるスポーツ施設の整備」の表記の場合、市民に求められるまま施設を整備するという誤解が生じる可能性があると思います。	指摘を踏まえ、スポーツ課と調整を行い、「市民に求められる」を削除し、「スポーツ施設の整備」とします。
7		第2編	第5章	1	①	82	新耐震基準以前に建築された戸建住宅 → 戸建住宅等 (確認が求められているのは戸建住宅よりも大規模建築物)	指摘のとおり修正します。 ⇒戸建住宅等
8		第2編	第5章	1	①	83	■課題の3番目の戸建住宅等の耐震化と、6番目の緊急輸送道路沿道及び不特定多数の利用に供される特定建築物やマンション等の耐震化の推進は、続きで掲載した方が良い。	ご指摘のとおり修正します。 ⇒項目の順番を修正します。
9		第2編	第5章	1	①	83	「総合的な防災体制の強化」の内容が「強靱化の視点に立ったまちづくり」で良いのか。	次のとおり修正します。 ⇒強靱化(レジリエンス)の視点に立った総合的な自然災害対策を講じます。
10	歴史まちづくり推進担当	第1編	第2章	4		15	(修正の理由) 平成25年の不記載勧告以来、比較研究を進め、再推薦に向けて「武家の古都・鎌倉」に代わる新たなコンセプトの構築を検討してきたところであるが、イコモスが認める新たなコンセプトの構築にはさらに時間を要する見込みであることから、世界遺産登録は中長期的な目標としながら、世界遺産のあるまちにふさわしい歴史的遺産と共生するまちづくりを進めることを第4期基本計画の課題とするため。 (修正内容) 「現在、再推薦に向けた準備を4県市で進めるとともに、社寺などの関係者とも連携し、市民意識のさらなる醸成に努めているところです。」という表現は、削除する。	指摘のとおり、削除します。
11		第1編	第2章	4		16	(修正の理由)同上 (修正内容)項目名を、「③世界遺産登録の推進」から「③世界遺産のあるまちを目指して」に変更し、内容を「鎌倉の貴重な歴史的遺産を守り伝えていくための具体的な取組の一つに世界遺産登録があります。世界遺産のあるまちにふさわしい歴史的遺産と共生するまちづくりを進め、中・長期的な目標として世界遺産登録を目指します。」という表現に改める。	指摘のとおり、修正します。
12	防災安全部	第1編	第2章	3		14	「災害対策全般において、男女のニーズの違いとともに、女性や子どもへの配慮等、様々なニーズに十分配慮します。」と変更すべき。 原文は、SDGsそのままと思うが、そのままでは鎌倉市の現状と照らし合わせ、意味が分からない。	指摘のとおり修正します。 ⇒「災害対策全般において、男女のニーズの違いとともに、女性や子どもへの配慮等、様々なニーズに十分配慮します。」
13		第1編	第2章	4		16	防潮堤は、県事業と思うが、記載して良いのか？ そのまま読むと、「防潮堤～の整備に向けた取組や、～安全対策を進めます。」と読める。	次のとおり修正します。 ⇒津波避難路の整備や情報伝達体制の充実など、災害時の市民・観光客などの安全対策を進めます。
14		第2編	第5章	1	①	84	成果指標である「人口に対する避難所の設置数」については、第4期基本計画に記載するのはふさわしくない。今後、公共施設や職員の増加が見込めない中で、小さな避難所を増やしていく、というような数を追い求めるのではなく、要支援者を含め、多様化するニーズを満たし、避難所生活をできるだけ円滑に送れるようにすることが重要であるため。	施策の方針の成果指標につきましては、パブリックコメントや市長の附属機関である「総合計画審議会」からの意見等を踏まえ、精査してまいります。
15	市民生活部	第1編	第2章	1		8	重複した言葉やわかりづらい表現をなくすため、「市としての取組の方向性」の文章を次のとおり修正する。 8「市政への市民参画や地域の多様な担い手との共創によるまちづくり、他自治体との広域的な連携などを通じて、効果的なパートナーシップを奨励・推進します。」	指摘のとおり修正します。 ⇒他自治体との広域的な連携などを通じて、効果的なパートナーシップを奨励・推進します。
16		第2編	第6章	1	①	111	110、111ページの他の文章との整合のため、「市としての取組の方向性」の2段落目を次のとおり修正する。 「 <u>漁業資源の管理や栽培漁業による水産資源の管理、……</u> 」	指摘のとおり修正します。 ⇒漁業資源の管理や栽培漁業による水産資源の管理、……
17	健康福祉部	第2編	第4章	1	①	55	「高齢者や障害者が」と言っているので 55「高齢者の就労や社会参加の支援」→高齢者の「就労や社会参加への支援」とし、その上で「特に障害者については」とつながるべきでは。	指摘のとおり修正します。 ⇒就労や社会参加への支援
18		第2編	第4章	1	①	54	文章の流れ的に、 54「障害者の地域移行が求められている→そのために、○○や××、△△をしていくことが必要。」の方がスムーズではないか。	指摘のとおり修正します。 ⇒～地域移行が求められています。そのために、地域における生活の安心感を担保する機能を整備し、障害者等の地域での生活を支援することが必要です。
19		第2編	第4章	1	②	58	【取り消し線部分削除：医療費】 これらの生活習慣病にかかる医療費は、国民健康保険医療費では、全体の約4割	指摘のとおり、「医療費」を削除します。

No	部等名	該当箇所					意見等	対応内容
20		第2編	第4章	1	②	58	施策を取り巻く状況の■現状にある「応急業務」を「医療救護活動」に修正する。」	指摘のとおり修正します。 ⇒「応急業務」→「医療救護活動」
21		第2編	第4章	6	①	78	「スポーツを実施する市民の偏り」はより分かりやすい表現にするため「スポーツ実施率の向上」に修正してはどうか。	指摘のとおり修正します。 ⇒スポーツ実施率の向上
22	環境部	第2編	第3章	3	①	42	・ごみの減量・資源化施策に対する市民の理解と日々の協力とともにの前に、「本市では、」を加えた方がいいのではないか。	指摘のとおり修正（加筆）します。 ⇒本市では、
23		第2編	第3章	3	①	42	・「一方で、リサイクル率は県内1位（平成28年度（2016年度））ですが、市民1人1日当たりのごみ排出量（排出原単位）は近隣市町と比べても未だに多く、今後も取組の継続とごみ処理施設の整備を行うことにより、さらなる削減の取組が必要です。」を「リサイクル率は県内1位（平成29年度（2017年度））ですが、一方で市民1人1日当たりのごみ排出量（排出原単位）は近隣市町と比べて未だに多く、今後もさらなる削減の取組が必要です。」とわかりやすく簡潔にしたほうがいいのか。	指摘のとおり修正します。 ⇒「リサイクル率は県内1位（平成29年度（2017年度））ですが、一方で市民1人1日当たりのごみ排出量（排出原単位）は近隣市町と比べて未だに多く、今後もさらなる削減の取組が必要です。」
24		第2編	第3章	3	①	43	「分別・収集・処理体制」の前に、「環境に配慮した安定的で効率的な」を加えた方が、具体的になるのではないかと。	指摘のとおり修正（加筆）します。 ⇒環境に配慮した安定的で効率的な～
25		第2編	第3章	3	①	43	「ごみ処理に係る最新技術や民間活力の活用、費用負担の軽減など」という表現は、現在の状況を踏まえて、「ごみ処理に係る最新技術や民間活力の活用、広域連携、費用負担の軽減など」として、広域連携の検討についての表現を記載していただきたい。	指摘のとおり修正（加筆）します。 ⇒～広域連携、～
26		第2編	第3章	3	②	47	「公害発生抑制」という表現を、「公害発生を抑制する」と市民に分かりやすい表現に修正すべき。	指摘のとおり修正します。 ⇒公害発生を抑制する
27		第2編	第3章	3	②	47	「環境の保全に向けて、」を削除し、取組の方向性を明確に示すため修正すべき。	指摘のとおり修正（削除）します。
28		第2編	第3章	3	③	51	・「NPO・企業」という表現を主な取組（1）効率的なエネルギー利用の促進等の「事業者」と統一したほうがいいのではないか。 ・主な取組（3）環境教育の推進の「企業・行政」も「事業者・市」と統一したほうがいいのではないか。	指摘のとおり修正します。 ⇒「企業」を「事業者」に、「行政」を「市」に修正する。
29	まちづくり計画部	第1編	第1章	1		2	「健全なコミュニティが損なわれるとともに」は削除。 既に自治町内会役員、民生委員・児童委員、青少年指導員等にも高齢化が著しく、地域コミュニティが現状で「健全」とは認められないのではないかと。	一般論として記述しているため、原文をベースとして、記述を見直します。 ⇒「地域のさまざまな活動を支える人口が減少すると、健全なコミュニティが希薄になり、地域活力が低下するとともに、税収の減少などが生じる懸念があります。」
30		全般				6,17,18	12行目の「6つの将来目標」について、17ページ、18ページには記載はありますが、6ページでいきなり「6つの将来目標」と記載してもわからない。 また、17ページ、18ページは第3期のように個別の章で説明していないため、イメージがしづらい。6ページの余白を使用して説明するか、ページを割いてでも説明しても良いのではないかと。	基本計画書としてとりまとめる際には、前段に基本構想をあわせて記載します。その中に、6つの将来目標について、記述することになります。
31		第1編	第2章	3		14	上から6行目より、「文化財の保存」、「活用や歴史的風土の保存」、「自然遺産を保存」とする。文化財保護法や古都保存法では「全」という文字は使わないため。 またSDGsのゴール・ターゲット欄の11の項目については順番が異なっていると考えため、順番通りに修正した方がよい。	保護、保全、保存、活用などについては、施策ごとに意味が異なる場合があるため、施策の方針ごとに注釈を付します。 SDGsのターゲットの順番は、指摘のとおり修正します。 ⇒11.4 11.5 11.b 11.c へ
32		第2編	第2章	1	①	28	課題の一番下の項目を「文化財の保護・活用」とする。文化財を資源として利活用していく視点が必要と考えるため。	保護、保全、保存、活用などについては、施策ごとに意味が異なる場合があるため、施策の方針ごとに注釈を作成します。
33		第2編	第3章	1	①	34	■現状の項目の上から3行目、「鎌倉市緑の基本計画」を策定し、国、県と連携して地域制緑地の指定等により」とした方がよい。 上から12行目、「民有地が占められており、土地所有者」とした方がよい。	指摘のとおり修正 ⇒「鎌倉市緑の基本計画を策定し、国、県と連携して地域制緑地の指定等により……」
34		第2編	第3章	2	①	38	1行目、「景観資源の保存活用」とした方がよい。 39ページでは保存活用となっているため、統一した方がよい。 ■現状の項目で上から7行目、「景観法に基づく鎌倉市景観計画の策定」とした方がよい。	指摘のとおり修正 ⇒景観資源の保存活用 ⇒景観法に基づく鎌倉市景観計画の策定
35		第2編	第3章	2	①	39	下から4行目、「大切に保存」とする。 文言統一をするべき。	保護、保全、保存、活用などについては、施策ごとに意味が異なる場合があるため、施策の方針ごとに注釈を作成します。
36		第2編	第5章	2	①	92	1行目の「商業・業務系地域における土地利用転換」については、3ページの「住宅系用地における空き家の増加や工業系土地における土地利用転換」と同じ書き方にした方がよい。 3行目の「活力」については、2ページの「地域活力の低下」と同じ書き方にした方がよい。 最終行目「価値」については、3ページの「ポテンシャル」と同じ書き方にした方がよい。	指摘とおり修正 ⇒「住宅系用地における空き家の増加や工業系土地における土地利用転換」 ⇒「地域活力の低下」 ⇒「ポテンシャル」
37		第2編	第5章	2	①	93	主な取組（3）の1行目の「深沢地区」→「深沢地域」	指摘のとおり修正 ⇒深沢地域
38		第2編	第5章	2	①	93	SDGsのゴール・ターゲットの達成に向けた取組の方向性の市としての取り組みの方向性の上から2行目、「市民が直接参加し、」とした方がよい。	指摘を踏まえ修正 ⇒「～市民が直接参加し、主役となるまちづくりを……」
39		第2編	第6章	1	②	113	3行目の「深沢整備事業」→「深沢地域整備事業」	指摘のとおり修正 ⇒深沢地域整備事業

No	部等名	該当箇所					意見等	対応内容
40		第2編	第6章	2	①	114	■現状の上から1行目、「歴史的遺産に恵まれた観光地であり、東京都心部からアクセスが良好なことから、国内外から」とした方が良い。	指摘のとおり修正 ⇒歴史的遺産に恵まれた観光地であり、東京都心部からアクセスが良好なことから、国内外から
41	都市景観部	第2編	第3章	2	②	40	「歴史的風土の保存を都市の風致の維を通じて…」の部分の次のように修正する。 「歴史的風土の保存及び都市の風致の維持を通じて…」	指摘のとおり修正 ⇒歴史的風土の保存及び都市の風致の維持を通じて…
42		第2編	第3章	2	②	41	「歴史風土特別保存地区の指定面積」の誤記を次のように修正する。 「歴史的風土特別保存地区の指定面積」	指摘のとおり修正 ⇒歴史的風土特別保存地区の指定面積
43		第2編	第5章	2	①	93	災害に強い強靱(レジリエンス)なまちづくりの「強い」と「強靱」という表現は同じではないか。 「災害に強いまちづくり」にした方がよい。	指摘を踏まえ、目標とするまちの姿の記述に合わせて修正 ⇒災害に強い安全・安心で強靱(レジリエンス)なまちづくり
44		第2編	第5章	2	①	94	住民協定、建築協定が締結されている地区の面積とあるが、住民協定はそもそも地区面積のデータがなく指標にならない。	当該成果指標を削除し、代替の成果指標を検討することとします。
45	都市整備部	第2編	第5章	5	①	102	■現状の「1世帯あたり人数の低下」の部分について、人数が減ることについては、低下でなく減少と表記することが適正であるため、「1世帯あたりの人数減少」と修正すべき。	指摘のとおり修正します。
46		第2編	第5章	5	①	102	「空き家の適正な管理と流通」の表現では、あたかも行政が個人の資産を管理、流通すると誤解を与え、財産権の侵害ともとられかねないため、「空き家の適正な管理、流通の促進」と修正すべき。 ※本項については個別に協議を希望します	指摘のとおり修正します。 ⇒空き家の適正な管理、流通の促進
47		第2編	第5章	5	①	102	「住宅セーフティネットや居住支援ネットワーク整備」の部分について、整備は「住宅セーフティネット」、「居住支援ネットワーク」の両方にかかるため、「住宅セーフティネットや居住支援ネットワークの整備」と修正すべき。	指摘のとおり修正(加筆)します。 ⇒住宅セーフティネットや居住支援ネットワークの整備
48		第2編	第5章	5	①	103	「住宅セーフティネットを強化し」の部分について、住宅セーフティネットは制度の名称であるため、「住宅セーフティネット機能を強化し」と修正すべき。	指摘のとおり修正(加筆)します。 ⇒住宅セーフティネット機能を強化し
49		第2編	第5章	6	①	104	「マンホールの耐震化や河川、雨水調整池への浸水対策が低調傾向にあることから」という表現については、低調傾向にあると断言できないため、この部分を削除すべき。	指摘を踏まえ修正します。 ⇒マンホールの耐震化や河川、雨水調整池への浸水対策を進めていますが、
50		第1編	第1章	3		4	「うるおい」、「やすらぎ」という表現は、ひらがな表現も良いが、「潤い」、「安らぎ」と表現すると“さんずい”と“安”でより一層の良い環境が表現できるのではないか。	指摘のとおり修正します。 ⇒潤い、安らぎ ※みどりの基本計画では漢字(みどり課確認)
51		第2編	第5章	6	①	105	公衆衛生の確保、海や河川の水質汚濁防止に向け、事業計画区域内での公共下水道の整備完了を目指すとともに、下水道ストックマネジメント計画に基づく計画的な点検・調査・改築・更新を行います。 以上のように「点検・調査」を追加したい。	指摘のとおり修正します。 ⇒「～下水道ストックマネジメント計画に基づく計画的な点検・調査・改築・更新を行います。」
52	教育部	第2編	第4章	3	①	68	【差替え】 グローバル化や情報化社会等により社会状況がめまぐるしく変化する予測が困難な時代を迎え、学校教育においては、国際理解教育やICT教育の充実等、子どもたち一人ひとりが持続可能な社会の担い手として、どのような状況であっても対応できるよう、社会において自立的に生きるために必要な「生きる力」を育むとともに、学びを人生や社会に生かそうとする人間性を培うことを目指した学校運営が求められます。 知・徳・体にわたる生きる力を身につけるための質の高い教育は、社会に開かれた教育課程を推進するために、学校・家庭・地域が協働して取り組む必要があります。 子どもたちが抱える課題が、複雑化・多様化・低年齢化してきており、教職員は、幅広い知識や技術を身につけるとともに、心理職・福祉職だけでなく、他機関との連携を今まで以上に密にする必要があります。 これからの共生社会においては、多様な子どもたちが一緒に学ぶことができるよう、インクルーシブ教育システムの構築にも取り組む必要があります。	指摘のとおり修正します。
53		第2編	第4章	3	①	68	※現状の記述の見直しを踏まえ、課題の順番を入れ替える ・ICT環境の充実 ・生きる力を身につける質の高い教育の推進 ・児童生徒へのきめ細やかな指導 ・個に応じた教育内容・指導・支援体制の充実 ・子どもたちに確かな学力を育成するための授業改善 ・いじめ問題の未然防止や早期対応、不登校に対する支援体制の充実 ・地域との連携による安全教育、防犯・防災体制の充実 ・児童生徒の問題行動に係る背景の複雑化・多様化への対応 ・教職員の指導力向上のための研修等の充実 ・インクルーシブ教育システムの構築 ・就学援助の内容の充実及び的確な支援対象者の見極め	指摘のとおり、現状部分の記述の見直しを踏まえ、課題の項目の順番を入れ替えます。
54	監査委員事務局	第2編	第1章	2	①	23	…、子どもから高齢者まですべて人が差別をはじめとする… すべての人では？	指摘のとおり修正 ⇒すべての人が差別を…
55		第2編	第1章	2	①	24	「入管法及び法務省設置法の一部を改正する法律」 「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律(平成30年法律第102号)」では？	指摘のとおり修正 ⇒「出入国管理及び難民認定法及び法務省設置法の一部を改正する法律(平成30年法律第102号)」
56		第2編	第4章	1	②	58	自殺によって、年間約30人の方が亡くなって…」 これは、鎌倉市民が？鎌倉市内で生じた自殺のこと？	指摘のとおり修正 ⇒本市では、自殺によって、年間約30人
57		第2編	第4章	3	①	68	・いじめ問題…不登校に対する支援体制 課題なら「支援体制の構築」「支援体制の充実」とかにしては？	指摘のとおり修正 ⇒～支援体制の充実

No	部等名	該当箇所					意見等	対応内容
58		第2編	第4章	3	②	72	・学校施設……老朽化 ・アンバランスな学校規模(略) 課題なら、「……老朽化対策」、「……学校規模の適正化」とかでは？ P73に記述あり。	指摘のとおり修正 ⇒～老朽化対策
59		第2編	第4章	5	①	75	「生涯学習の主たる事業が貸館になっている」 「貸館になっている」ことは課題ではなく問題では？ 本意は、生涯学習センターの利用を施設の本来目的に使われるような工夫を見出すことが課題では？	指摘のとおり修正 ⇒～貸館になっている施設の改善
60		第2編	第4章	6	①	78	スポーツを実施する市民の偏り	指摘のとおり修正 ⇒スポーツ実施率の向上
61		第2編	第5章	1	①	82	「…新耐震基準以前に建築された…」 新耐震基準について説明しては？	指摘のとおり修正 ⇒新耐震基準(昭和56年)以前に
62		第2編	第5章	1	①	82	「…、緑地の管理がされずに…」 管理が皆無でなければ、「…、緑地の管理が十分(適切)でなく…」としては？	指摘のとおり修正 ⇒緑地の管理が十分ではなく…
63		第2編	第5章	1	①	83	「自助・共助・公助の…」 「社会的ニーズに…」 多様化するニーズと社会的ニーズの違いが分かりにくい。 備蓄品の確保、備蓄品の準備の違いも。 一本にしてしまってもいいかも。	指摘のとおり、成果指標の1つを削除する。 ⇒施策の方針の成果指標の内容が重複しているため、削除する。
64		第2編	第5章	1	①	84	「…事前予防対策として、…」 「…事前予防策として、…」はいかが？。	次のとおり修正 ⇒災害の予防対策として、…
65		第2編	第5章	1	③	88	「…体制が効果的に行われています。」 体制を行うという表現？「…体制が効果的にとられています。」とかでは？	指摘のとおり修正 ⇒防災体制が確立されています。
66		第2編	第5章	3	①	96	「鎌倉地域特有の都市構造ゆえに、…」 具体的にいうとどういう都市構造？ 地形(谷戸に入り込んだ市街地が目立つ) 既成市街地の飽和？(できあがった都市)	指摘のとおり修正 ⇒鎌倉は貴重な歴史的遺産が数多く残る国内有数の歴史都市であるがゆえに、歴史的遺産・自然的環境～
67		第2編	第5章	3	①	96	「…事故も報告されています。」 誰(ここでは市？)に誰が報告することが、明確になっているならいいけれど。 「報道されています。」「取り上げられています。」とか	指摘のとおり修正 ⇒近年、全国的に高齢者が運転する自動車による重大な事故も発生しています。
68		第2編	第4章	1	②	58	■課題 生活習慣病にかかる医療費の増大	記述の見直し ⇒生活習慣病にかかる医療費の増大への対応
69	追加分	第1編	第1章	2		3	基本方針の深沢地域整備事業に係る記述を、見直すべきである。	記述の見直し ⇒鎌倉駅周辺、大船駅周辺に並ぶ第3の拠点として、まちづくりを進める深沢地域整備事業は、「Society5.0」※3 や「スマートシティ」など国の戦略を受け、新たな時代を見据えた社会インフラや多様な機能の導入により、その実現を目指します。深沢地域整備事業は、深沢地域のみならず、市域全体の持続可能なまちづくり(スマートでコンパクトなまちづくり※4)を牽引し、本市のポテンシャルを高め、「働くまち鎌倉」、「住みたい・住み続けたいまち鎌倉」の創造を目指すとともに、世界の先進モデルとなるようなまちづくりを目指します。 あわせて、イメージ図を挿入する。